

「中間まとめ」に関する地域説明会 村山会場アンケートの概要

1 アンケート回答数

参加者数	回答者数	回答率
89名	60名	67.4%

2 回答者の居住地

村山市	東根市	尾花沢市	大石田町	寒河江市	大江町	舟形町
38名	7名	1名	1名	4名	1名	1名
山形市	天童市	記入なし				
1名	3名	3名				

3 どのような立場で参加したのか（複数回答）

ア 地区内の小学生の保護者として	4名（6.7%）
イ 地区内の中学生の保護者として	8名（13.3%）
ウ 地区内の高校生の保護者として	5名（8.3%）
エ 地域の住民として	10名（16.7%）
オ 地区内の4高校の同窓生として	19名（31.7%）
カ 教育関係者（教職員・教育行政関係者など）	25名（41.7%）
キ その他	5名（8.3%）

（%は、アンケート回答者60名の中での割合）

4 参加理由（複数回答）

ア 「中間まとめ」の内容を知りたい	51名	イ 会場での意見を聞きたい	29名
ウ 自分の意見を述べたい	1名	エ その他	0名

5 説明内容について

ア わかった	17名	イ おおむねわかった	33名
ウ あまりわからなかった	5名	エ わからなかった	2名
無回答	3名		

## 6 寄せられた主な意見

### 【人材育成に関する内容】

村山農業高校は歴史のある学校と分かるが、将来、農業をしたいと思う人は限られていると思う。農業は深いものがあると思うが、生計をたてるのが難しい。いろんな道のりがあると思うが、勉強してからでも遅くないと思う。

現状としては、学力を中心に学校が選ばれていると思う(全部とは、いえないが)。

農業教育問題の重要性をもっと考えてほしい。特に果樹の問題。

### 【教育内容や活動に関する内容】

レベルの高い進学校を1つつくってほしい。山形に行かなくてもいいように。

普通高校を充実させてほしい。

進学高校充実を。山形市方面へ流出を減少させる方策を。

子どもの希望を第1にするとの発言があったが、教育 - どのような人材を育てるのか、というあり方も考慮しては。農業、工業にも力を入れた学校を充実していくのは当然と思われる。

### 【学校の配置に関する内容】

普通科6～8クラスが望ましいという回答は、そのとおりだと思う。実業科も専門教育のためには4クラス程度は必要ではないか。

農業県としてぜひ農業高校を残してほしい。新庄神室産業高校のように、農業と工業を一緒にするのはやめてほしい。

農業高校の現状は、日本の農業の実態と比例していることで理解できるが、将来の日本農業(食料自給の重要性)を根本から考え直し、確立していく国の政策として考える必要がある。

目的を確立した方向性を提示していくならば、若人の意欲ある人材が集まってくるのではないかと思う。

農耕民族の基礎をグローバルの観点から1校は残してほしい。

農業高校は必要なし。

3校案で進めてほしい。(東根)(楯岡)(尾花沢・大石田)

大変わかりやすい説明だった。3校再編が良いのではないか。施設・設備の充実した学校を希望する。地域の盛り上がり、もう少し必要ではないか。

3校案を支持する。ただし、北村山地区のみで普通高校を再編するという考え方には反対。県内総合支庁単位(4地域)で再編検討すべきである。そして、職業学校は全県で再編の検討をすべきである。(工業系、農業系、商業系、

水産系)

中間まとめでは、3校案と2校案がでていますが、個人的には2校で進めるべきと考える。3校案で教育機能の維持・向上が可能であるが、現場としては、4クラスでは無理という考え方が強い。

この地区から山形方面に生徒が流出していることを考えれば、通学の不便性があるとしても、より充実した教育機能を選ぶべき。

4校のままでもやってもらいたい。教育に金がいくらかかってもよいのではないか。

中学生や保護者達の意識に応じた高校の配置を考えてほしい。理想の高校配置に向けて、全体的に再編を実施してほしい。

山形県の将来は高校全体で何校必要か(県内全体で)。そして、職業高校は何校か。県全体配置を検討しているか。適正校数は。

実業高校については、村山全域で考えるべき。

職業教育は広域の視点で。

北村山地区から、他地区へ進学を希望している子が40%いる。これは大きな問題である。学区再編は、東南学区、西学区、北学区の3学区で考えるべきである。

経済効率ばかりを追求せずに、真に生徒のしあわせを考える再編にしてほしい。統廃合すると、ますます過疎化が進むと思う。山形県全体で考えるべきで、小さな地域に限定しての検討はおかしいと思う。

北村山一円という考えが必要。

全県的な(よりグローバルな)視野に立ち検討すべきである。

もっと大きくみてほしい。

再編しなくてはいけないのであるならば、交通の便の良い所、最寄りの駅から歩いて5~10分位の所が良いと思われる。

## 【その他の内容】

もう少し具体的な内容の話が聞けると思った。20年2月答申ということであるが、今後の検討に期待したい。

県全体として、産業教育の位置づけを、将来的にどう考えていくのか。まったくビジョンがなく、いきあたりばったりで、とにかく学校を減らそうという考えなのだと思った。

これが県民に対する最後の説明会なのに、何も決まっていないうと同じである。何のためにこの説明会を開いたのか。がっかりした。「説明会を開いた」という事実作りにすぎないと思う。

この問題がどのように進んでいるのかが見えない。もっと積極的な周知が

必要だと思う。いつの間にか決まっていたでは、納得いかない人が多いのでは。学校数の削減ありきで議論が始まっていないか。高校の存在は個々の地区の地域力にもかかわる問題。だとすれば、教育サイド以外からの意見聴取も必要なのでは。ともかく進め方をオープンにして、真正面から地域住民に説明し進めてほしい。

検討委員会での最終まとめは結論となるのだろうか。すでに結論を持っているのではないか。

現役で学校に通っている高校生の意見や、卒業して間もない子どもたちの意見も必要だと思う。中学生の意見は彼等の希望や望みであり、実際、経験している高校生や教員の意見も聞いてみる必要はあると思う。

村山市中心の考えの意見が多かった。

「歴史や伝統」ということにはこだわるべきではない。検討委員会で検討しているように、これからの子どもたちの将来を考えた再編を考えてもらいたい。

学校のOBの声の大小にとらわれなくてほしい。個々の高校をどうするかということが県としての案がまとまった段階で、説明会を設けるべき。総論はみんな賛成。具体的になると、市民の反応は全く異なってくると考える。

質疑応答の形も良いが、最初にこれまで検討委員会等で出された質問等についてすべて挙げてもらいたかった。その上で、3校または2校にする際のデメリットをもっと予め明示して、皆さんと検討してほしい。

現状を勘案すれば、再編には賛成。ただし、教育において最大の問題は“偏差値”だと思う。何としても公立高校という思いが希望もしない実業高校へと入学してしまうのではないか。山形県内には私立高校が多い。

以上